

# 名古屋外国語大学海外派遣プログラム成果報告書

2023年2月7日

学部・学科名 外国語学部・中国語学科

担当教員氏名 楊 紅 雲

1. 区分	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">中期留学</span> ・ 語学研修 ・ 海外実習
2. プログラム名称	2022年度中国語学科中期留学（インターシップを含む）
3. 渡航先国名	中国
4. 派遣期間	2022年8月29日（月）～ 2022年11月25日（金） 89日間
5. 派遣先教育機関名	大連大学
6. 参加学生数	1名
7. 派遣目的	オンラインによる語学研修および日本語教育実習
8. 派遣内容	2022年度の中期留学は、中国への入国制限のため、日本からのオンラインにより実施した。語学研修では、1週間に12コマ（1コマ90分）の学習を11週間行った。「中国語総合演習」「中国語会話」「中国語リスニング」「中国語講読」「現代中国語文法」の5種類の科目が用意され、授業はすべて教員と学生1対1の中国語のみ使用するものであった。日本語教育実習は、2週間行われ、「基礎日本語」「日本語リスニング・会話」「日本語会話」「日本企業経営概論」「日本語作文」「卒業論文指導」「上級日本語」など様々なタイプの授業見学を行った後、実際に2回授業を担当した。授業以外にも中国人学生との交流時間を2回組み込まれている。

<p>9. 成果</p>	<p>留学終了後の感想や単位互換作業中の報告によれば、1対1の授業でどの教員も手厚くサポートしてくれたので、オンラインでも非常に安心して授業に取り組むことができたという。毎回の授業では、単語テスト、3分間スピーチのほか、作文添削、新聞記事についての意見交換など発言が頻繁にあり、作文を通して様々な表現方法の指導を受けた。研修を通じて、スピーキング能力を向上させるためには、発言することへの積極性を養う必要があるという今後の課題を見つけた。日本語教育実習では、地震についてのテーマで動画や画像を用いて授業を工夫し、先方の教員から良い評価をいただいた。学生との小人数での交流では、それぞれの国での流行や学生生活について話し、楽しい学生同士の交流ができ、その後もSNSを通じて交流が続いている。授業見学で日本語を熱心に勉強する現地の学生の姿を見て大きな刺激となった。</p>
<p>10. 備考</p>	

以上

### 1. 留学中に学習した内容

今回のオンラインで行われた大連大学への中期留学では、2ヶ月半の語学の授業と、2週間の日本語言文化学院での教育実習という、2つのプログラムに取り組みました。教育実習の内容に関しては、教育実習報告書に記載したため割愛し、語学の授業の内容に関して記します。

今回の語学の授業は、週に90分×12コマを全て中国語で受講しました。科目は、会話、リスニング、文法、読解など細かく分類されており、7名の先生方に指導して頂きました。特に私が一番苦戦したのは、読解の授業でした。この授業では、毎回、現代中国のSNS事情や、仕事事情に関する記事を読み、自身が記事を読んだ上でどのように感じたか、また、日本ではどうなのかと言ったことを説明する必要がありました。事前に準備した事ではなく、その時に感じた事を中国語で言葉にする必要があったため、上手くいかない事も多くありましたが、先生方が私のつたない言葉を基に、より適した表現を指導して下さったため、自身の表現の幅が広がりました。

私はこれまで失敗を恐れてしまい、とりあえず言葉にしてみる事ができていませんでした。しかしながら、今回のオンライン中期留学では、参加者が1人であったため、90分間ひたすら話すしかなく、そういった荒療治が自身の語学力を向上させるためにはとても適していたと感じました。

### 2. その後の勉学で留学の効果を感じた点

今回のオンライン中期留学を通して、工夫しながら学習する力が身に付きました。例えば、授業開始当初は、聞き取れない言葉がかなり多くありました。そのため、オンライン授業であることを活かしてパソコンの音声文字起こし機能を使い、聞き取れなかった単語を文字として見ることで理解し、授業後の復習に役立てました。その結果、語彙力、リスニング力が2ヶ月半という短い期間でも劇的に向上したと感じます。そのため、今でもたくさんの中国語を動画サイト等で聞き、実際の使われ方を意識しながら覚えるという方法を取り入れ勉強しています。

また、マンツーマンで1日に約5時間授業を受けるという経験をした事で、度胸も身についたと感じます。まだまだ実践的に中国語を使うまでには達していませんが、今回の経験を活かし、少しずつ、着実に語学力を向上させていけるよう今後も努力したいです。

### 3. 卒業後の進路選択に役に立った事

今回の中期留学は、新型コロナウイルスの影響もありオンラインでの実施となりましたが、約3ヶ月間、中国の先生方や日本語を専攻する学生と過ごしたことにより、将来はやはり、様々な国の人々と関わる事で多くの経験をし、自身の視野を広げたいという思いが強くなりました。そのため、様々な業界や国の人々と関わりながら仕事をし、縁の下の力持ちのような存在となって社会を支えることができる国際物流の仕事に関心を持つようになりました。

就職活動の面接では、今回のオンラインでの中期留学を通して学んだ事も述べました。目標を達成するために、柔軟かつ能動的に行動できる点をアピールし、それを評価して頂いたと感じています。当初はオンラインでかつ1人で授業を受ける事に不安もありましたが、語学力を向上させたいとの思いから思い切って挑戦して本当に良かったです。なにより、大連大学及び本学の先生方がサポートして下さった事により、とても充実した時間を過ごす事ができました。本当にありがとうございました。